

社団法人 日本電子回路工業会から、第5回JPCAアワードを受賞 ～フレキシブルプリント配線板用ダイレクトパターンニング装置～

大日本スクリーン製造株式会社はこのほど、当社が開発したフレキシブルプリント配線板用ダイレクトパターンニング装置*について、社団法人 日本電子回路工業会から「第5回JPCAアワード」を受賞しました。



JPCAアワード授賞式にて

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

このたび当社が受賞したJPCAアワードは、日本電子回路工業会が主催する第39回国際電子回路産業展「JPCA Show 2009」の併催企画である、出展者製品・技術セミナー「NPI (New Product Introduction) プレゼンテーション」の発表者を対象に、製品・技術の独創性、電子回路技術ならびに産業発展への貢献性、信頼性などを総合的に評価し表彰する制度として、2005年に創設されたものです。5回目となる今年は、応募テーマ総数23件の中から6件が受賞しています。

当社は、今回のJPCAアワードの受賞を機に、ダイレクトパターンニング装置をフレキシブルプリント配線板生産におけるデファクトスタンダードとして確立するため、より一層のまい進を図ります。また、今後も電子回路業界の発展に貢献する新しい技術の創出を目指します。

■ メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー社長 藤澤 恭平のコメント

このたびの栄えあるJPCAアワードの受賞は、当社にとって誠に光栄の至りです。受賞対象となったダイレクトパターンニング装置は、プリント配線板の製造工程を大きく進化させるものであり、これを実現した当社の技術の独創性および先進性にも高い評価を頂けたことを、大変うれしく思います。

当社はこれまでにも、回路配線パターンの最終外観検査装置「FP-8500」(2005年)、製造工程ワークフローシステム「Sentflow」(2007年)についてアワードを受賞しており、今回で3度目となりますが、こうした評価の先にあるプリント配線板業界の当社への期待を見据え、身を引き締め直す思いです。今後も、お客さまのニーズにお応えすることはもちろん、業界の発展に貢献する次世代技術の開発に取り組んでいきます。

※ 新開発のレジスト機能を持つ液体トナーを使用した電子写真方式により、レジストパターンを描画データからプリント配線板上に直接印刷する装置。従来の工程に必要なレジスト塗布、露光、現像の3つの作業工程が1つになることで、世界最高の処理能力と回路形成工程の大幅な短縮を実現している。(www.screen.co.jp/press/NR090416.pdf)

● 本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室 Tel: 075-414-7131 Fax: 075-431-6500 URL: www.screen.co.jp